

NEWS RELEASE

「グローバル環境先進企業」に向けた活動を推進し、第 8 次環境計画をほぼ達成
三菱電機グループ「環境報告 2018」公開のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループ※1 の 2017 年度の環境経営の取り組み成果を「環境報告 2018」として、三菱電機オフィシャルウェブサイトで本日公開します。

2015～2017 年度の活動目標を定めた「第 8 次環境計画」では、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「自然共生社会の実現」「環境経営基盤の強化」を重点推進項目として掲げ、計画の最終年度である 2017 年度は、生産時 CO₂ の排出削減や、資源投入量の削減など各項目において、計画をほぼ達成しました。

三菱電機グループは、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとともに、「製品やサービスによる環境貢献」と「生産活動における環境負荷低減」を通じ、「グローバル環境先進企業」を目指します。

※1：三菱電機、国内関係会社 107 社および海外関係会社 84 社の合計 192 社が対象

「環境報告 2018」（2017 年度の環境経営の取り組み）掲載 URL
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

2017 年度の主な取り組みと成果

1. 低炭素社会の実現：製品生産時と使用時の両方で温室効果ガスの排出を低減

- (1) 生産時の CO₂ 総排出量（CO₂ 以外の温室効果ガスは CO₂ 重量換算）は、生産設備の更新や運用の見直しなどの各種削減施策により、2017 年度目標の 137 万トンを下回り、前年度比 7 万トン減となる 127 万トンに抑制※2
 - ・ CO₂ 以外の温室効果ガスの排出量は、低温暖化係数冷媒への転換や海外でのガス回収率の向上などで、目標の 22 万トンを下回る 19 万トン（CO₂ 換算値※3）に抑制
 - ・ エネルギー起源 CO₂ の排出量は、生産設備や設備機器への投資、IoT を活用した生産効率の改善などにより、前年度を上回る 2.4 万トンを削減
- (2) 製品使用時の CO₂ 削減率は、情報通信や電子デバイス分野を中心に製品の省エネ化が進み、102 の対象製品において、2017 年度目標通り 35%まで向上

※2：CO₂ 排出係数は第 8 次環境計画策定時の電気事業連合会 2013 年公表値 「原発 2 基稼働時の 0.487t-CO₂/MWh」を使用

※3：CO₂ 以外の温室効果ガスの温暖化係数は IPCC 第二次評価報告書 1995 年公表値を使用

2. 循環型社会の形成：製品の小型・軽量化による資源投入量の削減

- ・ レーザー加工機、LED 照明、光ネットワーク装置をはじめとした 64 製品群において、製品の小型・軽量化を進め、2000 年度比で資源投入量の平均削減率 40%を実現

3. 自然共生社会の実現：国内拠点の地域における生物多様性保全活動の拡大

- ・ 希少種・固有種の保全をはじめとする生物多様性保全活動の一環として国内すべての製作所（24 拠点）で敷地内の生物調査、地域固有種の保護などを実施
- ・ 親子向け自然観察「みつびしでんき野外教室」と「里山保全プロジェクト」において、開催地区数の拡大と地域児童の参加数増加により、3 年間累計で目標の 10,000 人を超える 15,000 人が参加

4. 環境経営基盤の強化：国内外 91 製造拠点の環境取り組みレベルの“見える化”で、環境管理レベルを向上

- ・ 国内外 91 製造拠点で共通のチェックシートを活用して「大気」「水質」「化学物質」「温暖化」「廃棄物」の 5 分野の改善活動を推進した結果、グループ各拠点の環境管理レベルが 100 点満点中、当社が 99 点、国内関係会社が 93 点、海外関係会社が 96 点となり、グループ全体の環境管理レベル向上を確認

今後の展開

三菱電機グループの環境活動は、SDGs（持続可能な開発目標）において、2030年までに達成すべき17の目標のうち、「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」や「13. 気候変動に具体的な対策を」など、6つの目標の達成に貢献します。

さらに、三菱電機グループは、「環境ビジョン2021」の達成に向けて第9次環境計画（2018～2020年度）を2018年4月に策定しました。今後とも、SDGsの達成に貢献する活動を推進するとともに、2030年、2050年を見据えた長期環境ビジョンの策定を進めていきます。

「第9次環境計画」掲載 URL：<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2018/0424.html>

主な活動項目における目標と実績について

😊 …たいへんよくできました 😊 …よくできました 😐 …おいしい 😞 …もっとがんばりましょう

分類	主な活動項目		評価指標		第8次環境計画 (2017年度) 目標	2017 年度 実績	評価
低炭素社会実現に向けた 取り組み	生産時の CO ₂ 排出削減		CO ₂ 換算排出量		137 万トン	127 万トン	
	製品使用 時 CO ₂ の 排出削減	省エネ性能向上 による製品使用 時 CO ₂ 削減	平均削減率 (2000 年度比) (対象 107 製品群)		35%以上 (107 製品群)	35% (102 製品群)	
		製品使用時 CO ₂ 削減の貢 献量拡大		削減貢献量 (対象 124 製品群)		9,200 万トン	7,100 万トン
循環型社会形成に向けた 取り組み	資源有効活用		最終 処分 率	当社	0.1%未満	0.001%	
				国内 関係会社	0.1%未満	0.01%	
				海外 関係会社	0.5%未満	0.59%	
	資源投入量の削減		平均削減率 (2000 年度比) (対象 64 製品)		40%以上	40%	
自然共生社会実現に向けた 取り組み	「みつびしでんき野外教室」 「里山保全プロジェクト」の継 続開催		3 年間の 参加人数		3 年間累計 10,000 人	3 年間累計 15,000 人	
	グローバルでの e-learning 実施による環境マインド 醸成		140 社の社員 受講率		100%	99.8%	
	事業所の生物多様性保全構 内生物調査		実施事業所数		全 24 事業所	全 24 事業所	
環境経営基盤の強化	統一基準による環境取組み リスクの評価と海外工場の レベル向上		全拠 点評 点平 均	当社	100 点	99 点	
				国内 関係会社	90 点	93 点	
				海外 関係会社	80 点	96 点	